



261

# 若竹だより

【巻頭言】

## 自閉症スペクトラム

—個性を大切にしよう—

園長 野田大燈

若竹学園には「情緒障害児短期治療施設」と言う長たらしい冠がついています。

姉妹施設の亀山学園は「児童養護施設」ですので、何らかの事情から家族との生活が困難となり保護者に代わって職員から必要な支援を受けながら生活する施設です。

同じ児童施設でも児童にとって必要な最善の処遇を行うために児童相談所が最終判断を行って施設を決定します。

「情緒障害」と聞くと特別な障害に聞こえるかも知れませんが「情緒」とは感情とか情動を指す言葉で、人間は誰しも心の動きは一定ではありません。

現在では「気分障害」と呼ばれていますが、それ以前は「うつ状態」と言われていました。

でも医学の進歩により人間には誰しも躁状態と鬱状態が交互することが解り、それが正常である、と言う事からWHO（世界保健機構）ではうつ病と言う病名を削除したと聞いています。

自分自身の心のバランスを上手くコントロールできないことを指すのであればすべての人が情緒障害といえるでしょう。

そして上手くコントロールできない場合はカウンセラーや薬を補助として使用します。

最近では科学の進歩により従来は客観的に診断できなかった精神疾患が近赤外線を使用した診

察計器により正確な疾患名が解るようになりました。

従来は自閉症とか発達障害と言うと精神的不治の病的な見方をしてきましたが、現在はADHDもアスペルガーも『個性』と捉える見方に替わってきました。

先日の新聞にビートルズのメンバーだった故ジョン・レノンの記事が掲載されていました。内容はレノンが15才の頃の通信簿的な書類に「宿題をしてこない。授業中に注意しても私語をやめない。授業妨害をする。態度が横柄 etc」と問題行動ぶりが列記されており、ロンドンでオークションにかけられるそうです。

世界を風靡したビートルズのジョン・レノンがとて身近に感じられますが、引力の法則を発見したニュートンや科学者のベル・アインシュタイン、そして近代日本を牽引した坂本竜馬も発達障害と言われています。

何をさせてもそつなくこなせる人間と、欠点もあるが専門性が高い人間を比較して何れがよいでしょうか。

「私は欠点だらけの人間だが、この専門性に於いては誰にも負けない!」も素晴らしい生き方だと思います。

子ども達は欠点だけを指摘されつつ育ってきて、自分の長所に気付いていません。

我々職員の仕事は子供たちの長所を見出して自己の有用感を育むことだと思います。

児童生徒の発達障害のみならず、最近では大人の発達障害が取り沙汰されています。

「障害は私の個性だ!」と言える社会こそが福祉の花咲く社会だと思います。 一了一

# 遍路小屋 落成式

学園では落成式に向けて遍路小屋の周りの環境整備を行いました。砂利をならし、遍路小屋のペンキ塗りなどを園生が中心となって作業を行いました。10月4日には遍路小屋の落成式が行われ、園生代表としてスピーチや楽器演奏などを披露する子どももいました。緊張の中しっかり披露でき、気持ちのいい秋晴れの中子ども達が活躍できた式となりました。



## 市長表敬訪問

10月15日には、大西市長が訪問に来て、遍路小屋での子ども達の活動を評価してくださり園生を激励してくれました。遍路小屋での活動を終え、頑張っていた園生に頂いた物を紹介しました。箱の中には、大きなどら焼き2枚とお菓子の詰め合わせが入っていました。園生一人に一つ頂いたことを伝えると、声を上げて喜んでいました。



## スイートポテト

10月18日に食育行事としてスイートポテトを作りました。自分達で掘ったサツマイモを材料に、自分達のオリジナルのお菓子を作れることで、こだわりを持ってパイ生地を伸ばし潰したサツマイモを入れて焼きあげてもらいました。



子ども達は高まる期待の中、焼き上がったパイ生地のパリパリの音、サクサクの触感に驚きながら、秋のおやつ作りを喜び、楽しみました。



## ウォークラリー練習

もうすぐ学園行事のウォークラリーがあります。その前に自分達の足腰を鍛える為、白峰寺からの遍路道や国分寺からの道をみんなで歩いて練習しています。長く歩くことに慣れていない子ども達も、「ギブアップ」と言いながらも、秋の景色の変化や自然を感じながら散歩を楽しむことが出来ました。



## 若竹学級だより

### 2015 年度も折り返し

2 学期も半ば、学校生活は後半戦に突入しました。年度当初に掲げた 5 つの重点項目（1. 子どもに寄り添った支援・指導, 2. 基礎学力の向上, 3. 自尊感情の育成, 4. 体験活動の重視, 5. 進路保障の充実）を学校生活全般を通して実践しています。

#### ふれあい福祉体験活動

高松市内にあるかがわ健康福祉機構に出かけ、子どもたちは高齢者疑似体験と車いす体験を行いました。

ヘッドフォン型耳栓や荷重チョッキを体に装着し、80 歳のお年寄りの体になりました。普段は何不自由なく動かせる体も年をとると歩くことさえ難しくなることを実感しました。



また、アイマスクを付けて車いす体験を行いました。目の不自由な人の気持ちが分かるだけでなく、車いすの操作もなかなか大変であることを体験することができました。

この経験を通して学んだことを 11 月に計画している老人ホームのお年寄りとのみかん狩りに活かしていくものと思います。

#### プラス α の調理実習

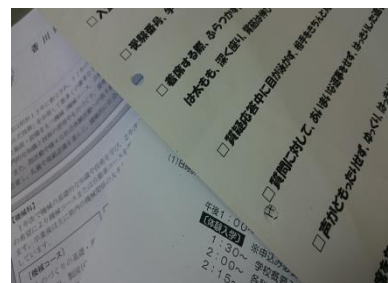
技術・家庭科の調理実習で、たこ焼きを作りました。ただ作るだけでなく、見た目をイメージし、盛りつけを工夫すると食卓が豊かになることを体験しました。

また、試食する前に、互いに作品を見せ合いました。友だちのよさを見つけ、それを伝えることを通して、人との人間関係の築き方を学びました。

#### 進路を考える

中学校三年生は、いよいよ進路決定の時期が目前に迫ってきました。10 月からは放課後の補充学習も始まりました。

帰省した際、進学を希望する高等学校の体験入学に参加した生徒もいます。進路についての



教育相談を実施すると、半年後の自分のイメージがずいぶんとふくらんでいることがうかがえる発言が聞かれるようになってきました。また、授業への取り組みも、以前にも増して集中している姿が見られるようになってきました。

「十五の春を笑って迎えられるように…」青峰学級でも、このスローガンを子どもたちと教職員が共有し、ひたむきな努力を重ねていきたいと思っています。



# 秋のスポーツ



## 行事

- 4 日 落成式
- 15 日 市長表敬訪問
- 18 日 おやつ作り
- 22 日 買物学習

**在籍人数**平成 27 年 10 月 25 日現在

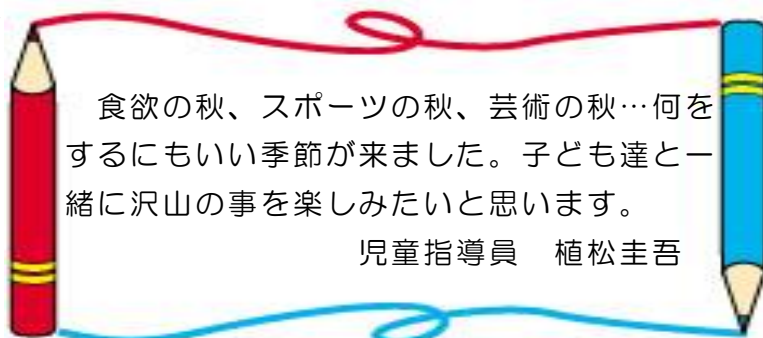
スポーツの秋、涼しく過ごしやすい気候になった事もあり、皆で集まって体を動かす事が多くなりました。「ケイドロしよう?他の人集めて来るわ。」「先生、ドッジボールしよう?」みんなで集まって体を動かしてスポーツを楽しんでいるようです。

## 休日の遊び

今月は釣りに行くことが少なかったですが、天気が良く潮がいい時に釣りに行ってきました。釣りが好きな子どもは、毎回、友達と競い合いながら、大きな魚を狙って釣りを楽しんでいます。「今日は必ず釣って帰って、から揚げにしてもらって食べるぞ。」と意気込んでいます。



区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	1	5	6
	中学生	7	5	12
	その他	0	0	0
	計	8	10	18
女子	小学生	2	0	2
	中学生	4	2	6
	その他	0	0	0
	計	6	2	8
合計		14	12	26



食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋…何をするにもいい季節が来ました。子ども達と一緒に沢山の事を楽しみたいと思います。

児童指導員 植松圭吾

**第 261 号発行**

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈